

◎ 教養教育機構

三重大学では全学生が教養教育科目と専門教育科目を履修します。

教養教育機構は教養教育科目を提供します。教養教育科目は、全学生が履修する「共通カリキュラム」と各学部が指定する科目を履修する「目的別カリキュラム」から成ります。

「共通カリキュラム」は「自律的・能動的学修力の育成」と「グローバル化に対応できる人材の育成」を理念とし、全学生が教養基盤科目(アクティブ・ラーニング、外国語、異文化理解、健康科学)と教養統合科目(地域理解・日本理解、国際理解・現代社会理解、現代科学理解)の中から定められた単位を履修します。

「目的別カリキュラム」として基礎教育やキャリア教育の科目も履修できます。

| 部 門 |
|---------------|
| 教養基盤科目、教養統合科目 |



◎ 人文学部・大学院人文社会科学研究科

人文・社会科学の教育及び研究を通じて、地域文化の発展に寄与するとともに、人間と社会の在り方を根底から探究し、問題の解決に主体的に取り組む人材を育成します。



| 人文学部(2学科・4講座/2コース) | | |
|--------------------|-------|--|
| | 学 科 | 講座/コース |
| 学 部 | 文化 | 日本研究講座、アジア・オセアニア研究講座、ヨーロッパ・地中海研究講座、アメリカ研究講座 |
| | 法律経済 | 法政コース(統治システム履修プログラム・生活法システム履修プログラム)、現代経済コース(企業経営履修プログラム・地域経済履修プログラム) |
| 大学院人文社会科学研究科(2専攻) | | |
| | 専 攻 | |
| 修士課程 | 地域文化論 | |
| | 社会科学 | |

◎ 教育学部・大学院教育学研究科

多様な分野からなる総合的な学部としての特長を生かし、人文・社会・自然科学を基礎とした発達や教育に関する深い専門性と職業人として十分な資質を備えた人材を育成します。



| 教育学部(1課程・13コース) | | |
|---------------------------|----------|--|
| | 課 程 | コ ー ス |
| 学 部 | 学校教育教員養成 | 国語教育、社会科教育、数学教育・情報教育、理科教育、音楽教育、美術教育、保健体育、技術・ものづくり教育、家政教育、英語教育、特別支援教育、幼児教育、学校教育 |
| 大学院教育学研究科(2専攻・5教育領域/2コース) | | |
| | 専 攻 | 教育領域/コース |
| 修士課程 | 教育科学 | 学校教育領域、特別支援教育領域、人文・社会系教育領域、理数・生活系教育領域、芸術・スポーツ系教育領域 |
| 専門職学位課程 | 教職実践高度化 | 学校経営力開発コース、教育実践力開発コース |

◎ 大学院医学系研究科・医学部

確固たる使命感と倫理観をもつ医療人を育成し、豊かな想像力と研究能力を養い、人類の健康と福祉の向上につとめ、地域および国際社会に貢献します。



| 大学院医学系研究科 | | | |
|--------------------------|-------------|----------------------------------|---|
| | 専 攻 | 講 座 | 教育研究分野 |
| 博士課程・修士課程 | 生命医科学(博士課程) | 基礎医学系 | 神経再生医学・細胞情報学、発生再生医学、機能プロテオミクス、幹細胞発生学、分子生理学、修復再生病理学、腫瘍病理学、統合薬理学、分子病態学、感染症制御医学・分子遺伝学、免疫学、医動物・感染医学、環境分子医学、公衆衛生・産業医学、法医学、医学医療教育学、免疫制御学、成育社会医学、動物機能ゲノミクス、遺伝子病態制御学 |
| | | 臨床医学系 | 循環器・腎臓内科学、血液・腫瘍内科学、消化器内科学、呼吸器内科学、代謝内分泌内科学、神経病態内科学、家庭医療学、精神神経科学、小児科学、皮膚科学、放射線医学、検査医学、臨床薬理学、肝胆膵・移植外科学、消化管・小児外科学、胸部心臓血管外科学、乳腺外科学、産科婦人科学、脳神経外科学、運動器外科学・腫瘍集学治療学、腎泌尿器外科学、眼科学、耳鼻咽喉・頭頸部外科学、口腔・顎顔面外科学、形成外科学、麻酔集中治療学、臨床麻酔科学、救急災害医学、病態解析内科学、新生児学、成育医学、健康増進・予防医療学 |
| | 医科学(修士課程) | (産学官連携講座) 遺伝子・免疫細胞治療学 | 遺伝子・免疫細胞治療学 |
| | | (産学官連携講座) 臨床創薬研究学 | 臨床創薬研究学 |
| | | (産学官連携講座) 先進的脳血管内治療学 | 先進的脳血管内治療学 |
| | | (産学官連携講座) システムズ薬理学 | システムズ薬理学 |
| | | (寄附講座) 認知症医療学 | 認知症医療学 |
| | | (寄附講座) 先進医療外科学 | 先端的外科技術開発学 |
| | | (寄附講座) スポーツ整形外科学 | スポーツ整形外科学 |
| | | (寄附講座) 脊椎外科・医用工学 | 脊椎外科・医用工学 |
| (寄附講座) 先進画像診断学 | 先進画像診断学 | | |
| (寄附講座) 先進がん治療学講座 | 先進がん治療学 | | |
| (未来医療研究人材養成拠点形成事業) 地域医療学 | 地域医療学 | | |
| 大学院医学系研究科 | | | |
| | 専 攻 | 領 域 | 教育研究分野 |
| 博士前期課程 | 看護学 | 基盤看護学領域 | 看護教育学、実践基礎看護学 |
| | | 実践看護学領域 | がん看護学、成人看護学、母性看護・助産学、小児看護学、老年看護学 |
| | | 広域看護学領域 | 精神看護学、ストレス健康科学、地域看護学 |
| 博士後期課程 | | | 看護教育学、実践基礎看護学、成熟期看護学、母子看護学、精神・ストレス健康科学、地域看護学 |
| 医学部 2学科 | | | |
| | 学 科 | 講 座 | 学科目 |
| 学 部 | 医学 | 基礎医学系、臨床医学系 | 解剖学、生化学、生理学、病理学、薬理学、分子病態学、微生物学、免疫学、医動物学、衛生学、公衆衛生学、法医学、医学医療教育学、内科学、神経内科学、家庭医療学、精神神経科学、小児科学、皮膚科学、放射線医学、検査医学、薬理学、外科学、産科婦人科学、脳神経外科学、整形外科学、泌尿器科学、眼科学、耳鼻咽喉科学、口腔外科学、麻酔科学、救急災害医学 |
| | 看護学 | 基礎看護学、成人・精神看護学、母性・小児看護学、地域・老年看護学 | |

● 大学院工学研究科・工学部

工学の専門分野を教授することを通じて、知的理解力・倫理的判断力・応用的活用力を備えた人材を育成するとともに、科学技術の研究を通じて、自然の中での人類の共生、福祉の増進、および社会の発展に貢献することを目指します。



| 大学院工学研究科（8専攻・20講座） | | |
|--------------------|-------------|------------------------------------|
| | 専攻 | 講座 |
| 博士 前期課程 | 機械工学 | 量子・電子機械、機能加工、環境エネルギー |
| | 電気電子工学 | 電気システム工学、情報・通信システム工学、電子物性工学 |
| | 分子素材工学 | 分子設計化学、生物機能工学、素材化学 |
| | 建築学 | 建築デザイン、建築マネジメント |
| | 情報工学 | コンピュータサイエンス、知能工学 |
| 博士 後期課程 | 物理学 | 量子工学、ナノ工学 |
| | 材料科学、システム工学 | 材料物性、材料化学、電気情報システム、設計システム、循環システム設計 |
| 工学部（6学科・15講座） | | |
| | 学科 | 講座 |
| 学 部 | 機械工学 | 量子・電子機械、機能加工、環境エネルギー |
| | 電気電子工学 | 電気システム工学、情報・通信システム工学、電子物性工学 |
| | 分子素材工学 | 分子設計化学、生物機能工学、素材化学 |
| | 建築学 | 建築デザイン、建築マネジメント |
| | 情報工学 | コンピュータサイエンス、知能工学 |
| | 物理学 | 量子工学、ナノ工学 |

● 大学院生物資源学研究科・生物資源学部

自然と人類の共生を図り、生物資源の適切な開発と利用を追求する学問を確立し、その基礎的、応用的な科学技術を教授・研究することによって、独創性と専門性を兼ね備えた人材養成を目指します。



| 大学院生物資源学研究科（前期課程：3専攻・9講座、後期課程：3専攻・6講座） | | |
|--|--------------------|-------------------------------|
| | 専攻 | 講座 |
| 博士 前期課程 | 資源循環学 | 農業生物学、森林資源環境学、国際・地域資源学 |
| | 共生環境学 | 地球システム学、環境情報システム工学、農業農村工学 |
| | 生物圏生命科学 | 生命機能化学、海洋生命分子化学、海洋生物学 |
| 博士 後期課程 | 資源循環学 | 資源循環システム科学、国際資源循環科学 |
| | 共生環境学 | 気象・地球システム学、環境・生産科学 |
| | 生物圏生命科学 | 応用生命化学、海洋生物学 |
| 生物資源学部（4学科、7コース） | | |
| | 学科 | コース |
| 学 部 | 資源循環学 | 農林生物学教育コース、国際・地域資源学教育コース |
| | 共生環境学 | 地球環境システム学教育コース、地域環境デザイン学教育コース |
| | 生物圏生命科学 ※平成29年募集停止 | 応用生命化学教育コース、海洋生物学教育コース |
| | 生物圏生命化学 ※平成29年新設 | 生命機能化学教育コース、海洋生命分子化学教育コース |
| | 海洋生物資源学 ※平成29年新設 | 海洋生物資源学教育コース |

● 大学院地域イノベーション学研究科

現代の産業社会、特に三重地域圏などの地方産業界で生じている社会ニーズと大学院における教育の乖離を打破し、地方の衰退を食い止められる人材を養成するために「地域イノベーション学研究科」を設置し、「プロジェクト・マネジメントができる研究開発系人材」および「地域にゼロから1を創造できるソーシャル・アントレプレナー人材」を育成し、地域社会に輩出します。



| 大学院地域イノベーション学研究科（2専攻・4ユニット） | | |
|-----------------------------|------------|--|
| | 専攻 | 講座 |
| 博士 前期課程 | 地域イノベーション学 | 工学イノベーションユニット、バイオイノベーションユニット、社会イノベーションユニット |
| 博士 後期課程 | 地域イノベーション学 | 地域新創造ユニット |

● 学内共同教育研究施設等

| 名 称 | 設置目的及び研究部門等 |
|---------------|---|
| 地域人材教育開発機構 | 各部局との連携・協働を通して、三重大の教育目標の達成に向けた教育諸活動の創造・開発を推進するとともに、地方創生に資する地域人材育成の学位プログラム・教育の質保証に向けた取組みを支援することを目的とします。 |
| 地域イノベーション推進機構 | 地域イノベーションの推進に向けて、三重大が戦略的に展開する研究活動を支援・推進するとともに、三重大の教育研究資源を活用した成果の社会還元と、地域の発展に寄与する人材育成活動への支援を目的とします。 |
| 地域拠点サテライト | 平成28年度から発足した「三重大地域拠点サテライト」は、4つの地域サテライト（伊賀サテライト、東紀州サテライト、伊勢志摩サテライト、北勢サテライト（平成30年度設置予定））で構成する組織であり、「地域拠点サテライト構想」に基づき発足しました。この構想では、三重大の教育研究成果を活用して地域創生に資することを目的に掲げており、様々な活動を展開するうえで三重県全体を教育研究フィールドと位置づけています。活動の場となるフィールドは、それぞれの特性に対応した具体的な活動を展開するため、三重県内を地域の特性に合わせて区分し、各地域には自治体施設を活用した「地域サテライト」を設置します。4つの地域サテライトでは、「地域課題の解決」と「地域人材の養成」に関するハブ機能となって実践的な活動を展開し、三重県地域における地域創生と地域人材の育成に取り組みます。 |
| 附属図書館 | 研究支援機能、学習支援機能、地域貢献機能を3本柱とする附属図書館は、隣接する環境・情報科学館とともに、知を獲得・創出し、共有する場となります。 |
| 保健管理センター | 教職員及び学生の健康の保持増進を図るための専門的業務を行うところで、医師・保健師・看護師等が“こころ”と“からだ”両面の相談に応じています。また、定期的な健康診断も行っています。 |
| 国際交流センター | 国際化推進事業及び国際教育を通じて国際的な課題の解決に貢献できる人材を養成し、三重大及び地域の国際化に寄与することを目的として設置され、海外大学との学術交流協定の締結、学生・研究者の派遣・受入、留学生・日本人学生への国際教育、部局の国際活動の支援等を行っています。 |
| 総合情報処理センター | 教育システム、各種サーバーから、インターネットに接続されたキャンパスネットワークまでの多種多様な機器を管理運用することで教育、研究の支援を行います。またネットワークセキュリティの基礎を提供します。 |
| 学生総合支援センター | 充実した学生生活の実現を図るため、学生の修学、就職及び生活等への支援を行います。 |
| 国際環境教育研究センター | 上浜キャンパス（附属病院を除く）において、学生を中心とした環境マネジメントシステム（EMS）が国際標準規格（ISO14001:2004）に適合していることが認められ、平成19年11月に日本初の全学一括の認証を取得しました。現在は環境マネジメントシステムの継続的改善を図るとともに、「世界に誇れる環境先進大学」として環境教育・環境研究を推進し、大学の社会的責任（USR）を果たす活動を行っています。また、教育研究活動に伴い排出される廃水、廃棄物、大気汚染等の適切な管理運営を行い、公害を防止し、環境の安全確保を図ります。 |
| アドミッションセンター | 三重大が定める基本方針に基づき、高校教育及び大学教育の連続性と一貫性に立つ高大接続を推進するとともに、多面的かつ総合的な評価で構成する入学者選抜方法の開発と実現を通じ、地域に貢献する人材の育成に寄与することを目的とします。 |
| 博学連携推進室 | 博物館等との組織的な協力及び連携事業を推進することにより、地域における教育・研究のネットワークを発展させます。 |
| 男女共同参画推進室 | 学長を委員長とする男女共同参画推進委員会の下、同専門委員会及び学生委員会と共に、女性活躍推進、ワーク・ライフ・バランス及び次世代育成支援等に積極的に取り組んでいます。平成20年7月に「三重大男女共同参画宣言」を行い、平成25年10月に三重県の「男女がいそいそ働いている企業」認証を取得し、同年11月には三重県知事表彰「グッドプラクティス賞」を受賞しました。 |

● 学部附属教育研究施設

| 名 称 | 設置目的及び研究部門等 |
|----------------|---|
| 教育学部附属教職支援センター | 教員養成教育及び教師教育についての支援業務及び調査・研究の成果に基づく指導（教員養成支援部門、学校連携支援部門、研修開発支援部門、総合支援室）を行います。 |

● 大学院附属教育研究施設

| 名 称 | 設置目的及び研究部門等 |
|-------------------------------------|--|
| 生物資源学研究科 附属紀伊・黒潮流域フィールドサイエンスセンター | 紀伊半島全域と黒潮流域に広がる山から海までの生態系を対象に、人間と自然との共生を目指す総合科学の実習教育・研究施設 |
| 附属施設農場 | 農地生産業務、果樹園芸業務、施設栽培業務、農産加工業務、機械・圃場管理業務、畜産管理業務、教育学部技術教育コースからなる農学及び地域環境の実習教育・研究施設 |
| 附属施設演習林 | 森林資源学並びに森林・地域環境保全の実習教育・研究施設 |
| 附属施設水産実験所 | 水産科学、海洋生物学並びに海洋環境保全の実習教育・研究施設 |
| 生物資源学研究科 附属練習船勢水丸 | 水産学・海洋生物学・海洋環境学に関する実習並びに研究調査 |
| 生物資源学研究科 附属鯨類研究センター | 海洋生物資源としての鯨類の持続的利用に関する基礎から応用にいたる研究を推進するための研究施設 |
| 地域イノベーション学研究科 地域イノベーション・コアラポ | 高度専門職業人の育成及び大学の研究成果を社会に還元することを目的として、産学官連携による共同研究を実施する施設 |